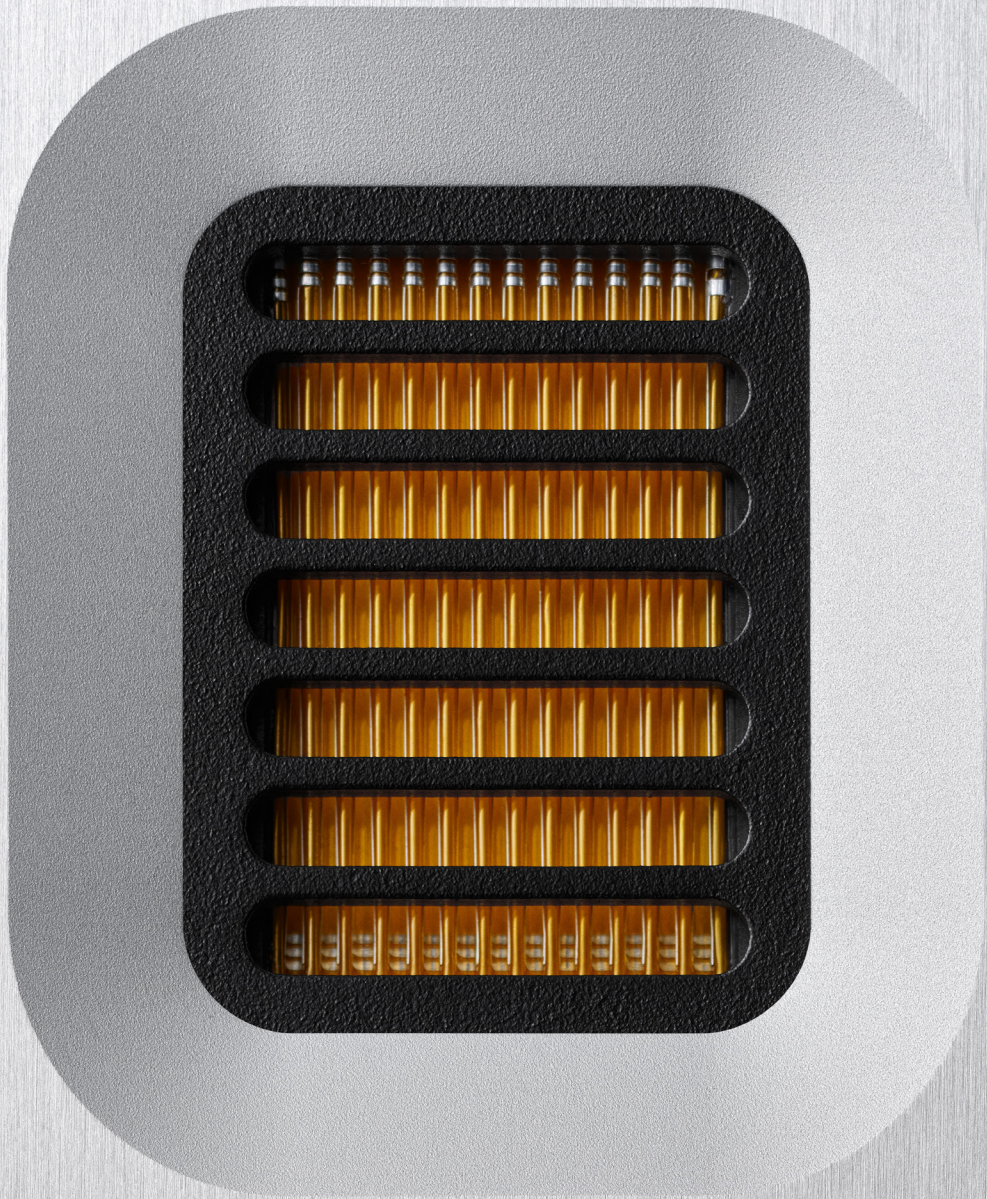


目次

序章	
本スピーカーについて	6
本取扱説明書について	6
使用目的	7
許容動作条件	7
安全上の注意事項	
専門家へのアドバイス	10
警告記号および警告語の意味	11
安全上の重要な注意事項	12
BC150の概要	15
開梱、接続、操作	
スピーカーの開梱	19
納入品目	19
調整脚の調整	21
正しい取り付け位置	23
スピーカーの接続	24
スピーカーケーブル	24
接続端子を開く	25
従来接続	27
バイアンプ	29
アンビエンスレベルの設定	31
メンテナンス、修理、お手入れ	
トラブルシューティング	32
クリーニング	32
保証について	32
廃棄	32
技術データ	33



序章



当社の製品をお選びいただき、 誠にありがとうございます。

絶対的な忠実さと妥協のない品質、そして技術革新と最大限の柔軟性を兼ね備えた機器をお選びいただきました。本機を初めてお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、この優れたオーディオ機器の性能を存分にお楽しみください。

ご不明点がございましたら、お近くの販売店または当社まで直接お問い合わせください。珍しいと思われるような特別な要望でも、是非ご相談ください。技術的にセンスのあるチャレンジを喜んで受け入れます。

ぜひ、楽しんでお聴きください。
Burmesterチーム

本スピーカーについて

BC150は、BC350に続くBCシリーズの第2弾です。サイドマウントされた32 cmのウーファー、18 cmのミッドレンジ、AMTツイーターシャーシを搭載した3ウェイバスレフ型スピーカーです。

BC150には、追加のリアAMTツイーターシャーシがあります。そのレベル（アンビエンスレベル）をスピーカー背面のコントローラーで任意に調整することで、空間性の向上を実現します。

スピーカーは、高さ調整が可能な一体型の脚部に取り付けられています。BC150にはパイアンプのオプションがあります。納入品目には、高純度の無酸素銅製の組み立て済みの金メッキ接続ブリッジが含まれます。

本取扱説明書について

本取扱説明書は、ユーザーによるBC150スピーカーの操作について説明しています。

また、専門家向けの情報も提供しています。専門家のみに関係するセクションには、それに応じてマークが付けられています。

 この作業手順は、専門家に依頼してください!

使用目的

本機は、ホームミュージックシステム用に設計されています。

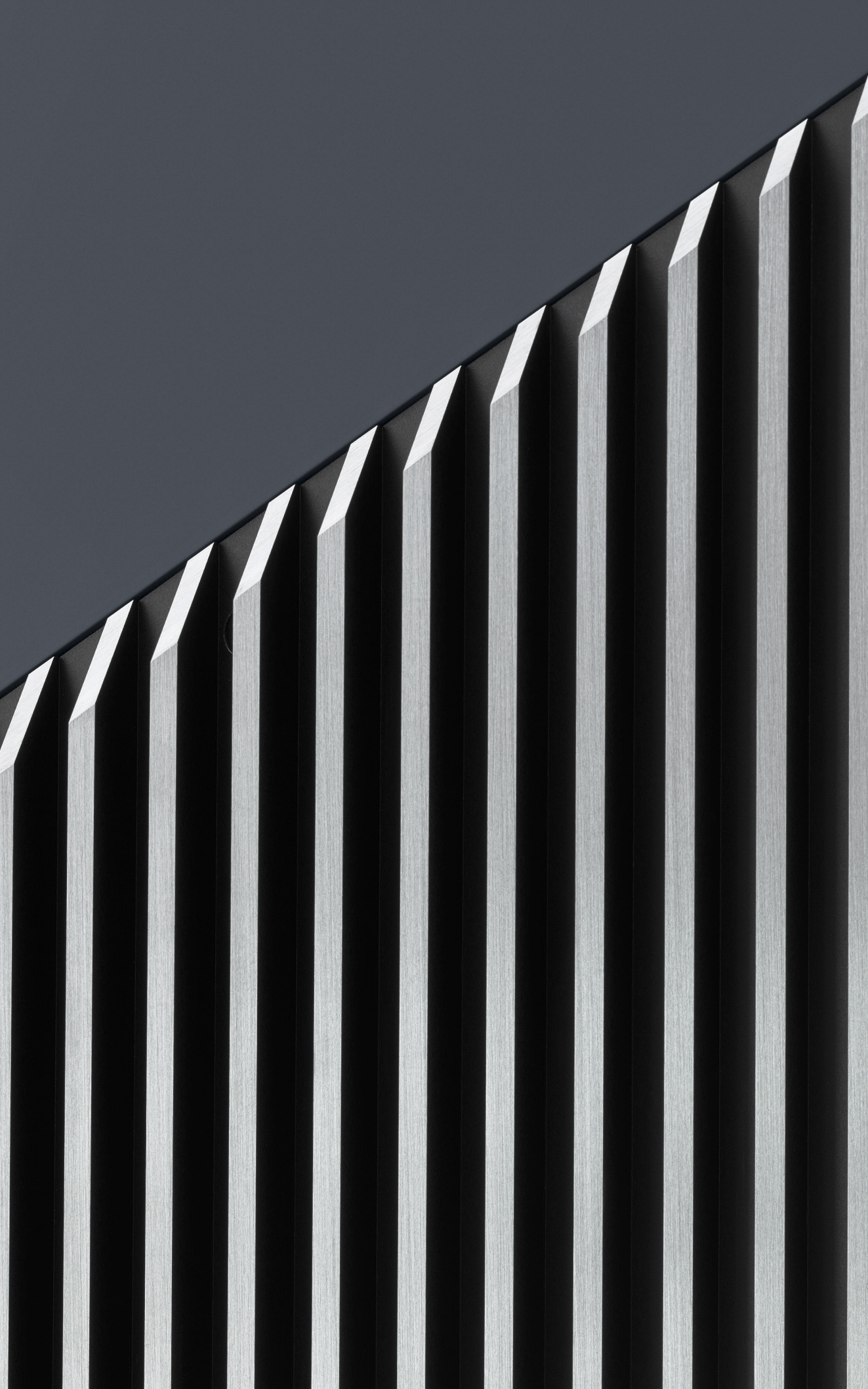
許容動作条件

スピーカーの操作は、以下の条件のもとで行ってください。

最大動作高度 < 2000 m

湿度 < 50%

温度範囲: 20~30°C



安全上の注意事項

専門家へのアドバイス

この取扱説明書に記載されている個々の手順は、訓練を受けた専門家のみが実施することができます。

この作業手順では、本説明書の該当ページが青く表示され以下のような注記が付いています。

 この作業手順は、専門家に依頼してください!

その後の使用や移動の際に手助けが必要な場合は、専門の販売店にご相談ください。

警告記号および警告語の意味

本書では、以下のような警告、記号、および警告語を使用しています。



一般的な危険記号は、**注意**、**警告**、**危険**の警告語と合わせて、重傷の危険性を警告しています。怪我や死亡を避けるために、以下のすべての指示に従ってください。



警告語 **危険**に関連する稲妻の記号は、生命を脅かす電圧を警告します。



注意:

は、本機の損傷や破壊につながる危険性を示しています。



警戒:

は、怪我の危険性が低いまたは中程度であることを示しています。



警告:

は、死亡または重傷を負う可能性がある危険な状態を示しています。

安全上の重要な注意事項

記載されている指示、特に安全および警告に関する指示を読み、それに従ってください。

この取扱説明書は安全な場所に保管してください。



警戒: 子供の怪我の危険性

この機器は、誤った使い方をすると、さまざまな怪我を負う危険性があります。

- そのため、目を離さずにお子様を一人で機器のそばに置いておくことは絶対に避けてください。この機器はお子様のご利用を想定していません。



警告: 危険な電圧

パワーアンプのスピーカー出力は、生命を脅かす電圧がかかっています。

- 操作中は、本機のスピーカー端子やスピーカー、スピーカーのシャーシに触れないでください。



注意: 不適切な設置による危険

- スピーカーを屋外で使用しないでください。直射日光、過度の熱、寒さ、湿気、ほこりを避けてください。
- スピーカーのスロットや開口部を覆わないでください。
- 水滴や水しぶきがかかるような場所にスピーカーを置いたり、液体の入った容器を上置きしたりしないでください。
- スピーカーの上にロウソクなどの火気のあるものを置かないでください。

**注意: 誤った配線や高すぎるレベル**

誤った配線や高すぎるレベルでは、システムのコンポーネントを損傷する可能性があります。

- システムの電源を入れる前に、すべてのケーブル接続が正しい極性（プラス、マイナス）になっているか確認してください。再配線後、すべてが正しく接続されていることを確認するまで、ゆっくりと音量を上げてください。

**注意: 不適切な操作による危険**

- 接続したアンプの音量を下げてから電源を入れてください。
- 操作中は、スピーカーのシャーシに触れないでください。接触するとシャーシが損傷する可能性があります。

**警戒: 転倒による怪我の危険**

不適切な取り扱いをすると、スピーカーが転倒する恐れがあります。

- スピーカーは平らで安定した場所にのみ置いてください。スピーカーが常に正確に直立していることを確認してください。

**警戒: 強度の高いサウンド**

大音量の出力信号は聴力を損なう恐れがあります。

- 接続したアンプの音量を下げてから電源を入れてください。
- 聴力低下を防ぐために、大きな音量での長時間の試聴は避けてください。



- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | AMTツイーターシャーシ |
| 2 | ミッドレンジシャーシ |
| 3 | ウーファースのシャーシ |
| 4 | リアAMTツイーターシャーシ |
| 5 | 接続端子 |
| 6 | リアAMTツイーターシャーシの制御 (アンピエンスレベル) |
| 7 | バスレフポート |
| 8 | 高さ調節可能な脚 |
| 9 | 端子カバーを開けると、接続ブリッジの収納スペース |

BC150の概要





Burmester

開梱、接続、操作



スピーカーの開梱

 この作業手順は専門家に依頼してください!

納入品目:

納入品目は以下の通りです。

1	スピーカー BC150 (左右バージョン) のパッケージ
1	アクセサリボックスには、取扱説明書、保証書、調整脚の高さを調整するためのツール、スピーカーを水平にするための水準器が入っています
1	ケアセット

納入品目に不備がないか、破損がないかをご確認ください。

万一、納入品目の部品が不足していたり、開梱時に破損していることに気づいた場合は、接続せずに正規専門店にご相談ください。

引越しなどの輸送のために、オリジナルのパッケージを保管しておくことをお勧めします。



警戒: 怪我の危険

スピーカーは非常に重いため、倒れたり落としたりすると重傷を負う可能性があります。

→ スピーカーの開梱および設置は、重量物の取り扱い訓練を受けた専門家のみが行ってください。



警告: 窒息の危険

BC150の納入品目の一部は、袋に入れてお届けします。

→ 窒息の危険を防ぐために、これらの袋を子供の手の届かないところに保管してください。すべての梱包材に子供を近づけないでください。



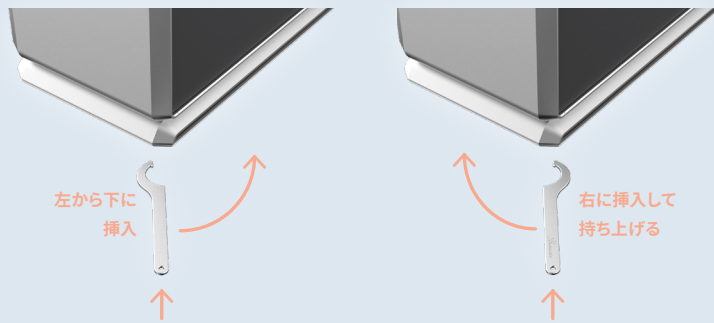
調整用フックレンチ

調整脚の調整

 この作業手順は専門家に依頼してください!

スピーカーがしっかりと立つためには、スピーカーが直立している必要があります。
ボックスに付いている調節可能な足は、付属の フックレンチを使って調節することができます。

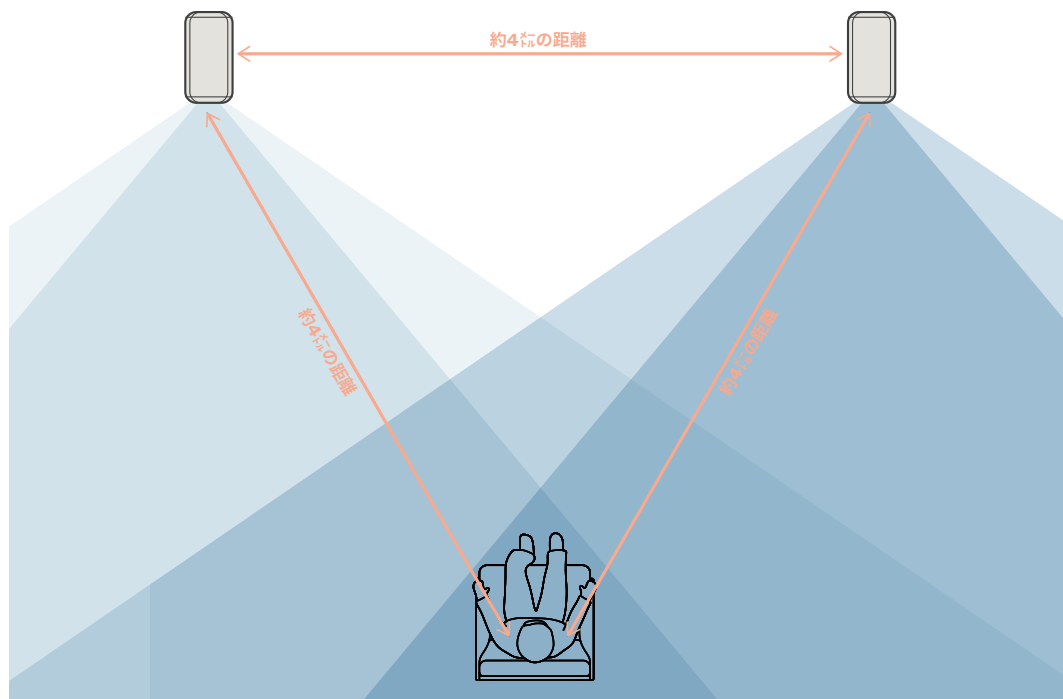
→ 付属の水準器を使用して、正しい位置合わせを確認してください。



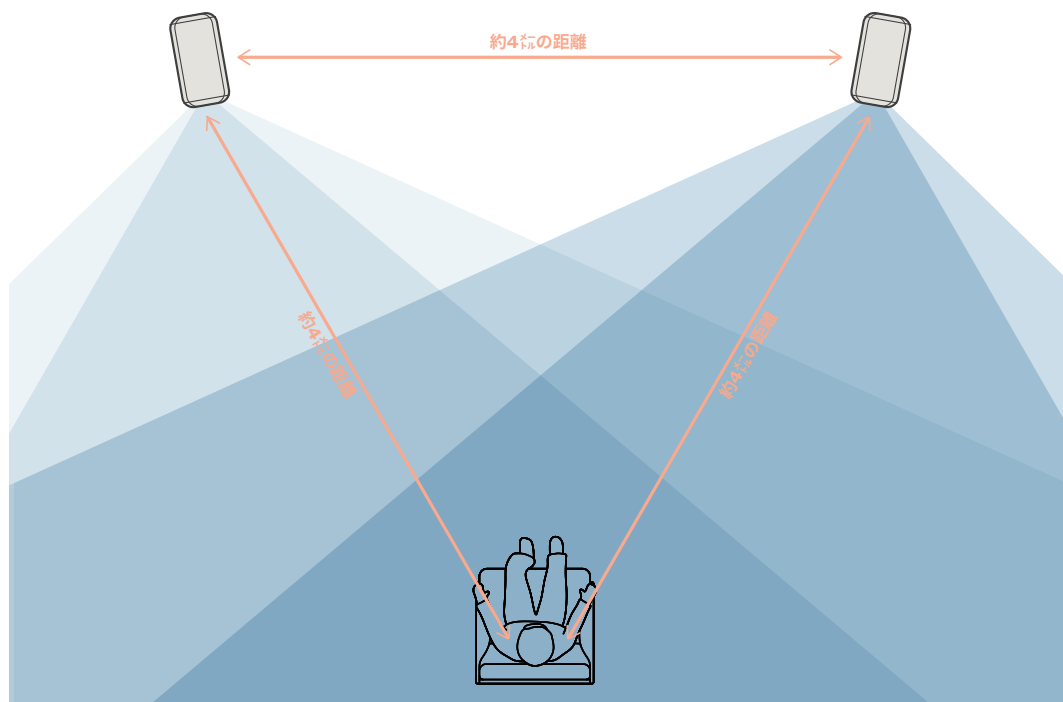
1. 図のように、ベースプレートと床の間にフックレンチを挿入します。希望の調整方向に合わせて引っ掛けます。
2. キーを使用して、必要に応じて調整脚を調整します。
3. ボックスが真っ直ぐになり、転倒しなくなるまで、他の調整脚でこのプロセスを繰り返します。調整脚を不必要に回さないでください。
4. 付属の水準器をスピーカーの上に置きます。気泡が水準器の中心にぴったりくるように、足を適宜調整してください。



適正なバランスの水準器



壁に平行なスピーカーフロント



スピーカーの角度

正しい取り付け位置

スピーカーと壁の間の距離が大きくなると空間イメージが大きくなり、低音の再生が小さくなります。BC150は、壁際に設置しても低音を増強する必要がないように設計されています。2台のスピーカーの間隔は約4mとし、スピーカー間のスペースはできるだけ空けておきます。リスナーまでの距離も約4mにする必要があります。

設置面積が長方形の部屋では、スピーカーを部屋の短い方の壁に設置するよりも、長い方の壁に設置する方が好ましいです。部屋の中の音響的に「硬い」場所（滑らかな壁や窓の表面）に設置する方が、音響的に「柔らかい」場所（布張りの家具や本、カーペットなどによって和らげられた場所）に設置するよりも好ましいです。

サイドウーファーのシャーシが内側に向くようにスピーカーを設置することをお勧めします。左右のスピーカーボックスの対応する識別は、ボックスに貼られたラベルの各シリアルナンバーの末尾（-L、-R）にあります。

後壁との距離: 最小50 CM

側壁との距離: 最小100 CM

スピーカーの角度はお好みに応じて調整でき、サウンドイメージには以下のような影響を与えます。

スピーカーに角度が付いていない:

- 空間性の向上とステージセッティングの拡大
- 高音域レベルが下がる
- 低音域のレベルは、中音域以下の範囲まで上がる
- サウンドイメージが温かみを増す

リスニングポジションに向けて角度をつけたスピーカー:

- より正確なイメージングとステージ
- 高音域レベルが上がる
- 低音は中音域の範囲まで減少する
- サウンドイメージが鮮明になる

スピーカーの接続

接続する前に、接続されているコンポーネントの取扱説明書もお読みください。
正しい極性に注意してください: 赤 = 正、黒 = 負



注意: 不適切な接続は損傷につながる可能性があります!

→ 短絡または誤った接続は、スピーカーおよびその他のコンポーネントを損傷する可能性があります。

スピーカーケーブル

スピーカーケーブル

Burmesterは、スピーカーをパワーアンプに接続するために、断面積の大きいケーブルを使用することを推奨しています。断面積が大きいため、パワーアンプのダンピングファクターを維持ことができ、スピーカーを最適にコントロールすることができます。最良の結果を得るためには、Burmesterスピーカーやアンプの内部配線と同じ電気的および音響的特性を持つBurmesterオリジナルのスピーカーケーブルを使用する必要があります。これらのケーブルは、当社のスピーカーに最適に適合し、テストされています。



注意

スピーカーケーブルの絶縁体は、オリジナルのBurmesterスピーカーケーブルに対応していなければならない、少なくともVW-1に準拠した燃性テストに適合している必要があります。

→ 詳細については、メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

接続端子を開く



警告: 危険な電圧

パワーアンプのスイッチを切ります。パワーアンプのスピーカー出力は、生命を脅かす電圧がかかっています。

端子カバーはマグネットで固定されています。

BC150の端子カバーを開くには、くぼみをつかんでカバーを手前に引きます。

閉じるには、端子カバーを慎重に上端に置きます。端子カバーはマグネットで引っ張られて所定の位置に収まります。

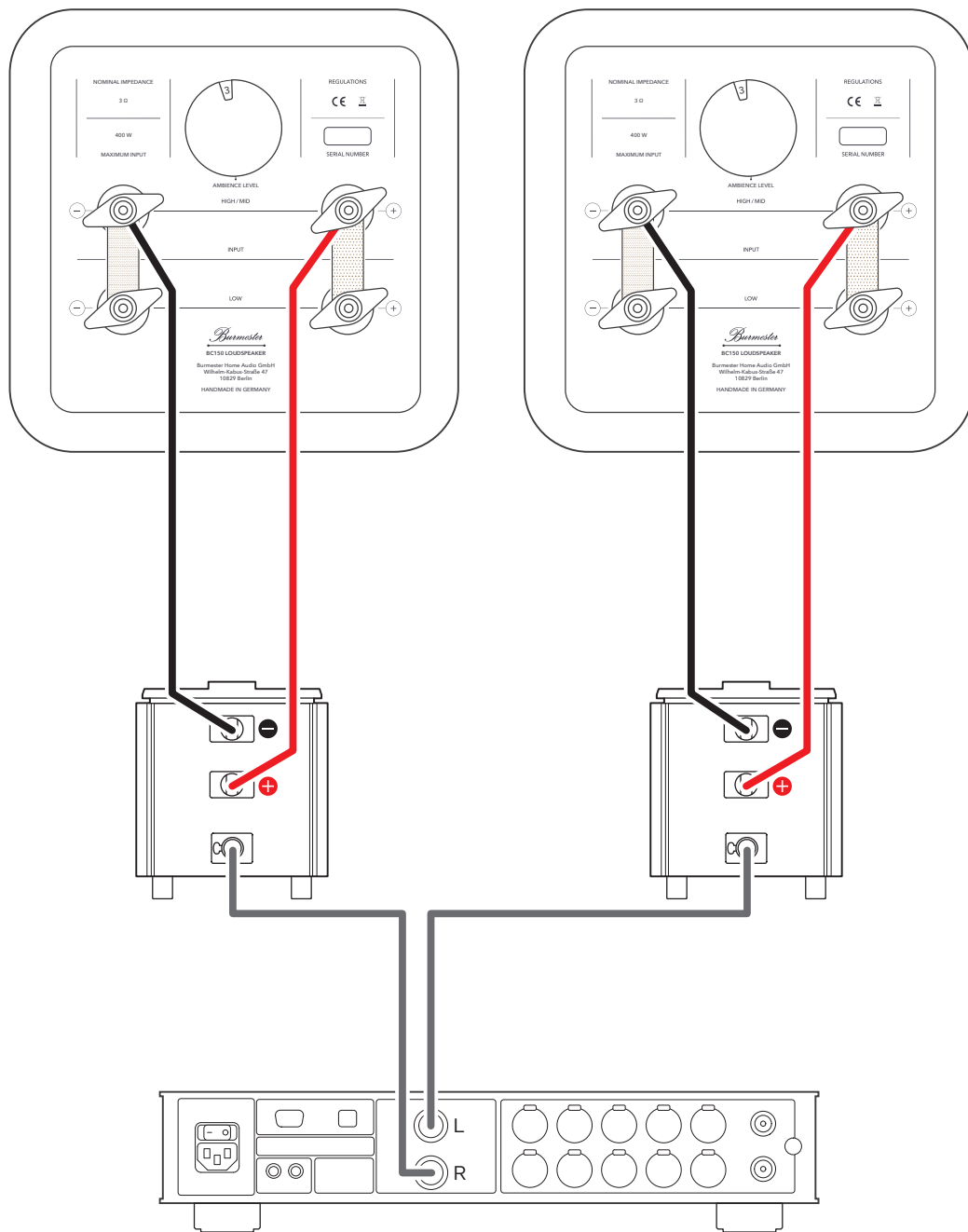


警戒: 挟まれる危険

→ フラップを挿入する際は、つぶれないように下部の開口部だけを持ってください。



従来の操作用に挿入された接続ブリッジを備えたスピーカー端子

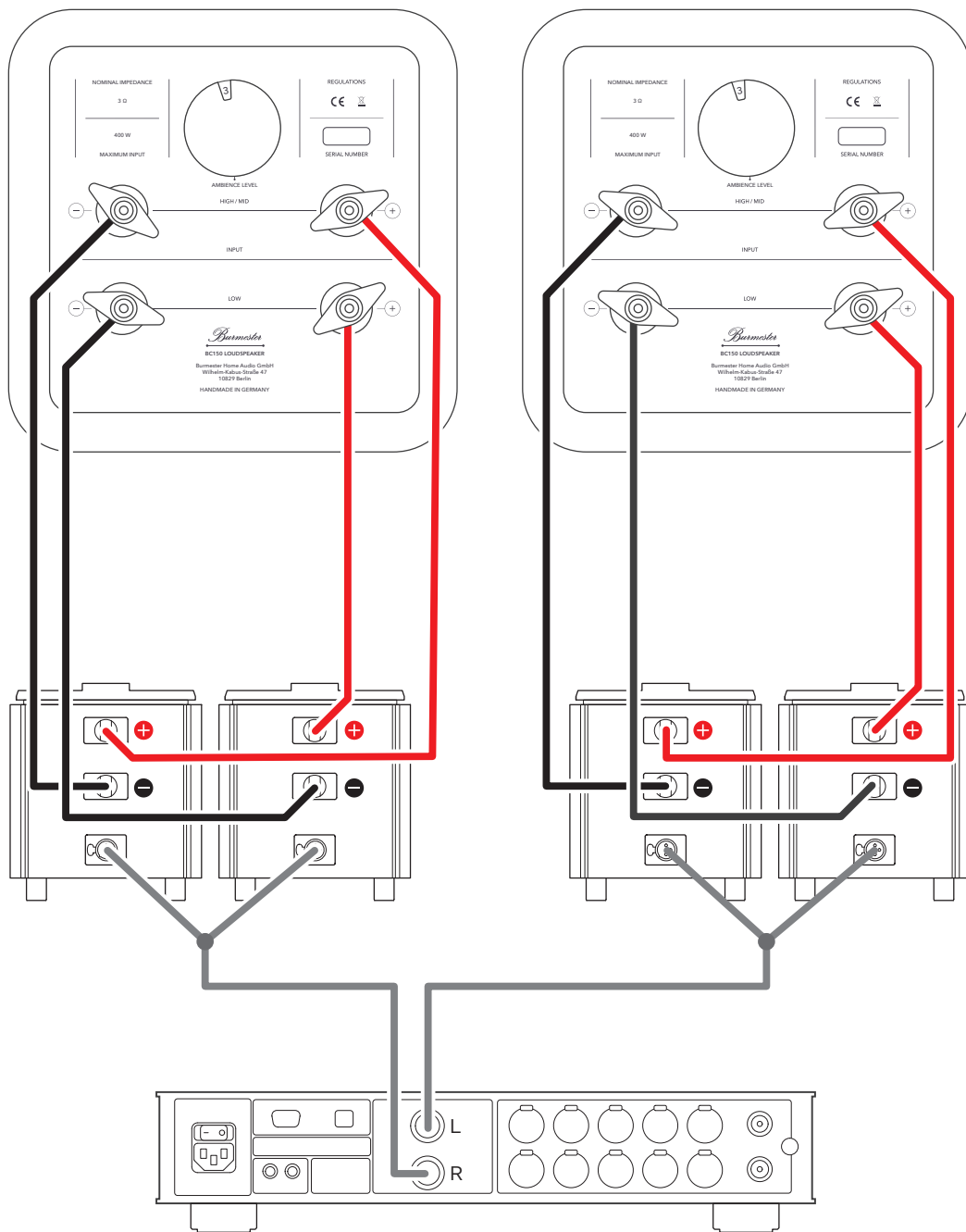


従来の接続

ここでは、パワーアンプの各チャンネルとスピーカーを2極ケーブルで接続しています。そのため、ステレオ再生には、ステレオアンプまたは2台のモノラルパワーアンプが必要となります。スピーカーを接続するには:

1. アンプのスイッチを切ります。
2. 上記の手順で、BC150の端子カバーを開けます。
3. 接続ブリッジが接続端子に挿入されていることを確認してください(図を参照)。
4. スピーカーケーブルの片側を、ミッドレンジ/ツイーターユニットのマイナス端子(マイナス端子(-))に取り付けます。
5. スピーカーケーブルの反対側を、パワーアンプのマイナス端子に取り付けます。
6. スピーカーケーブルの片側を、ミッドレンジ/ツイーターユニットのプラス端子(プラス端子(+))に取り付けます。スピーカーケーブルの反対側を、パワーアンプのプラス端子に取り付けます。
7. 2台目のスピーカーにも手順2~6を繰り返します。
8. 端子カバーを元に戻し、スピーカーケーブルを残りの開口部に通します。

バイアンプ操作のブリッジを接続しないスピーカー端子



バイアンプ

バイアンプでは、ウーファー、ミッドレンジ、ツイーターがそれぞれのパワーアンプチャンネルで接続されています。これにより、ミッドレンジ/ツイーターユニット用のパワーアンプチャンネルが、ウーファーの高い電力要求から解放されるため、サウンド上のメリットが明確になります。ただし、この接続の場合、パワーアンプのチャンネル数も2倍必要になります。このタイプの接続では、モノラルなら4台、ステレオなら2台のパワーアンプが必要になります。このタイプの接続では、スピーカーボックスごとに2本のスピーカーケーブルが必要です。

準備

1. 2台のモノラルパワーアンプ、または1台のステレオパワーアンプを各スピーカーの近くに配置します。
2. パワーアンプのスイッチを切ります。
3. 端子カバーを開きます。

接続ブリッジの解体

4. マイナス極端子 (-) を反時計回りに回して完全に緩めます。
5. 接続ブリッジを取り外します。
6. マイナス極端子 (-) を時計回りに回してマイナス端子に再度取り付けます。
7. 端子カバーのローレット付きネジを取り外し、接続ブリッジをネジで固定します。
8. プラス極のポール端子 (+) で手順3~7を繰り返します。

スピーカーの接続

9. プリアンプとパワーアンプの接続は、反対側の図のように行います。オプションで利用可能な2本のBurmesterバイアンプアダプターまたはアダプターケーブルが必要です。販売店が対応します。
10. 図のように、パワーアンプの出力に、スピーカーのウーファーユニットとミッドレンジ/ツイーターユニットを別々に接続します。極性が正しいことを確認してください。ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく販売店にお問い合わせください。
11. 端子カバーを元に戻し、スピーカーケーブルを残りの開口部に通します。
12. 2台目のスピーカーにも手順2~11を繰り返します。



アンビエンスレベルの設定

BC150には、追加のリアAMTツイーターシャーシがあります。そのレベル(アンビエンスレベル)をスピーカー背面のコントローラーで任意に調整することで、空間性の向上を実現します。アンビエンス効果は、スピーカーの位置や周囲の表面の音響特性によって異なります。

リアAMTツイーターシャーシのコントローラーは、端子カバーの後ろの接続パネルにあります。

1. BC150の端子カバーを、開口部に手を入れて手前に引き、開きます。端子カバーはマグネットで固定されています。
2. コントローラー(6)を使って、好みのアンビエンスレベルに調整します。
3. 端子カバーを交換します。



警戒: 挟まれる危険

→ フラップを挿入する際は、つぶれないように下部の開口部だけを持ってください。

4. 2台目のスピーカーボックスにも手順1~3を繰り返します。

メンテナンス、修理、お手入れ

トラブルシューティング

1つまたは複数のスピーカーから音が出ない

エラーの原因: 電子機器のスイッチが入っていません。

→ アンプや音源のスイッチを入れます。

エラーの原因: スピーカー配線の短絡または開回路。

→ 配線を確認し、既存のエラーを取り除きます。

低音が弱い、または空間的に拡散しているように感じられる

エラーの原因: チャンネル内の配線時に逆極性エラーが発生している。

→ アンプの該当するチャンネルのプラスとマイナスのリード線を切り替えます。

クリーニング



注意: 表面の損傷

液体や化学薬品によって、ハウジングの表面が損傷する恐れがあります。

→ スピーカーに液体が入らないようにしてください。

→ 同封のケアセットを使って、BC150の表面をクリーニングしてください。

→ クリーニングには化学薬品を使用しないでください。

保証

Burmesterは、スピーカーに5年間の保証を付与しています。

そのためには、適切な接続、過負荷のない操作、スピーカーの機械的な健全性、および記入済みの保証書の送付が必要となります。

廃棄処理

法律では、この機器を家庭ゴミ（灰色のゴミ箱、黄色のゴミ箱、有機ゴミ箱、紙やガラス）と一緒に廃棄してはならず、自治体の回収場所や自主回収システムに引き渡す必要があると規定しています。



BC150の技術データ

原則	3ウェイバスレフ
重量	180 kg
幅	309 mm
高さ	1433 mm
奥行	601 mm
公称耐荷重 (DIN EN 60268-5)	400 W
感度 (2.83 V/1m時)	88.5 dB
公称インピーダンス	3 Ω
伝送範囲 (+/- 3 dB)	34 Hz~20000 Hz
高周波コンバーター	エアモーショントランスフォーマー
ミッドレンジコンバーター	楕円形の位相プラグとボイスコイル
低周波コンバーター	サンドイッチコーンと強力なモーター デュアルマグネット付き
転送周波数	155 Hz / 1800 Hz

技術的に変更される場合があります



バージョン: BA_BC150_JA_1-1_2108

BURMESTER HOME AUDIO GMBH

Wilhelm-Kabus-Straße 47

10829 Berlin

ドイツ

www.burmester.de